

## <知っておくと役に立つディスクゴルフ英会話>

by 諸岡通容 協力 : Prof. Katsu Ogawa , California State University

世界選手権やジャパンオープンなどで外人選手と一緒にプレーする。日本にふらりと立寄った外人プレーヤーたちと一緒にラウンドする。競技進行はもちろんですが、多少でも英語で話ができたらいいですよね？私自身、そんなに喋れるわけではないのですが、ディスクゴルフに関しての簡単な英会話集をシーン別にまとめてみました。なるべくネイティブな英会話になるようなボキャブラリーを選んでいきます。

### ○試合開始前の挨拶

まずは、Nice meet you! と軽く握手。次に名前の確認になるわけですが、I'm Miciyasu Morooka. And you are . . . ? 「私はモロオカミチヤスと言います。あなたは？」 初対面の場合、My name is ×× よりも I'm××と 言うと自然。And you are . . . ? と言えば、相手も自然に名乗ってくれます。What's your name? は「君、名前は？」になり、警察官などが名前を問うときの上目線フレーズなのでご注意ください。外人にとって日本人の名前は難解なので、例えば私の場合は、Please call me MORO in shortly. のように短いニックネームを教えてあげると喜びます。多分、外人選手もクリスチャンネームなど何かしら愛称を持っているので、教えてくれるはずです。メモするなどして覚えましょう。

もし、相手の名前がよく聞き取れなかった場合は、Could you say (that )again for me? 「 for me」 をつけることで、「日本人なんでよく聞き取れなくてゴメンね」というニュアンスが出て、より丁寧な言い方になります。I beg your pardon! は「なにか勘違いしてるんじゃない？」 「ごめんなさい」の意味にとられるので使わない方が無難。ちなみに Pardon? も「なんですと! ?」に。ただし、『パルドン?』と発音すると仏語になるので、仏語圏のカナダ人にはOK。英語圏の人にはジョークぽく聞こえます。

M: Nice meet you! I'm Miciyasu Morooka. And you are . . . ?

N: I'm Nikko Locastro.

M: Could you say (that) again for me?

N: Nikko ,Lo-cas-tro. You may call me Nico.

M: Oh ,I see. Thank you!

## ○試合中

さて、2分前のホーンが鳴り、いよいよティーオフ。  
Good Luck! Good shooting! などと声を掛け合います。  
相手から Good Luck! と言われたら、You too! と返せば簡単。

相手のいいショットについては、Good shot! Beautiful! Excellent!  
That's great!などを。Nice shot! よりもよく使われます。相手から言われたら、大きな声でかならず Thank you! を。 It's just a fluke! (イツ・ジャスタ・フロック)で「まぐれです〜!」に。ただし、あまり連発するのは嫌みに聞こえるのでNGです。

相手がロングパットを外したときなどは、Good run! または Nice run!  
日本語の「惜しい!」は場合によっては Oh ,shit! に聞こえがちで  
「なんであいつが悔しがっているんだろう?」と不思議がられるよう。  
逆にそのことを教えてあげるとたいがい喜びますが・・・(笑)。

パットやアプローチの順番で誰が遠いかは、Who's away?  
「誰の番?」=Who's up? 「僕の番」=I'm up. もしくは It's my turn.  
「君の番」=You're up.  
パットで「お先に」は=Let me finish( it). 話し声でパットに集中できないような場合には「ちょっと声を抑えてくださいな」=Could you hold (it) down a little? ちなみにボードによくある Quiet! は「お静かに!」と命令口調。

前のホールのスコアを聞くときは、What' did you get? 自分のスコアを申告するときには、I made a par. I took a birdie. I shot a six. など。数字の前にならず「a=ア」をつけるのが肝心です。慣れるまではスコアの前に「え〜と」という感じで「ア〜」をつけるとよいでしょう。

Nice birdie! Good par save! などと褒め合って、しばらくパー（ボギー）が続いて、ようやくバーディ（パー）が出せたときは、I need it! という感じで喜ぶとよろしいです。

OB は「オウ・ビー」でも通じますが Out of Bounds 「アウト・オブ・バウンズ」がより分かりやすいよう。自分のディスクが OB に入ったと思われるときは、

- ・リティーします=I'll shot re-tee.
- ・暫定スローをします= I'll shot provisional disc.

Tee-bird, white one. と言って投げるディスクを確認してもらいます。この provisional (暫定=プロヴィジショナル) は、必ず覚えておきたい単語です。相手が OB になった場合は、That sucks! とか Too bad! と言っておしまい。そもそも相手が失敗したときは、外人さんはあまり声をかけませんね。

ペナルティの申告などの際、日本だと 2 ペナ（ツー・ペナ）とかで済ましますが、2-stroke penalty のように stroke 「ストローク」を必ず入れます。ちなみに OB のスコアを申告するときは、○3 「サークル・スリー」、◎5 「ダブル・サークル・ファイブ」などと丸で囲むか脇に書きます。最近ではストローク数しか記入にない方が多いようです。ちなみにバーディを○、ボギーを■などで記入するのはボールゴルフのスタイル。海外のローカル大会などでは通用する場合がありますが、あくまで数字での記入を。

試合中、トイレに行きたくなった場合は I need (have) to go restroom. 英国では toilet でもオーケーですが、米語だと「便器」になるので野外でも restroom か bathroom を。ちなみに「バンカー」も本来は英語。米語では sand trap です。

いいよいよラストホールのティーオフ。まるで儀式であるように握手かハイタッチ、ハグなどしながら決まって言うのが、Enjoyed it! Nice playing with you! Hope we play again! など。私はたいてい and I need beer! で締めます（笑）。

## ○試合後

ゲーム後にスコアをたずねるときは What did you shoot?  
他のパーティの人のスコア（調子）を聞くときは How are you shooting?  
自分が聞かれたときは All right（いい感じ） so so（それほどよくない）  
not bad（まあまあ）など。

別れ際には See you! See you later! See you soon! などを。  
Good-bye! は「あばよ！」のニュアンスなので使わないのが無難。

## ○番外編

たいていのディスクの名前は同じ発音ですが、  
「バルキリー」→「ヴァークリー」に聞こえます。  
同じく「イーグル」→「イーゴウ」  
あとはアクセントに気をつけられたい通じます。

向かい風はアゲインストではなく、headwind  
追い風はフォローではなく、downwind、  
横風は crosswind (sidewind でも良い)なので覚えておきましょう。

150クラスについてのコメントなどでは、  
It must be different playing with 150 class discs.  
How's throwing 150 class discs?  
How do you like playing with 150 class discs?  
Are you used to playing with 150's?

などで会話を盛り上げましょう。

では、皆さんの健闘を祈ります！